

## 障害者権利委員会第 21 会期閉幕

2019/04/08

国連人権高等弁務官事務所

障害者権利委員会第 21 会期が 5 日、閉幕した。この会期ではキューバ、ニジェール、ノルウェー、ルワンダ、サウジアラビア、セネガル、スペイン、トルコ、バヌアツの報告書が審査され、それぞれに対する最終見解と勧告が採択された。また、4 件の個人通報が審理され、1 件が条約違反、1 件が受理不能、1 件が審理打ち切り、1 件はさらなる調査のために審理延期となった。閉会前に国際障害同盟 (IDA) の代表が発言し、各国政府に対して選択議定書の採択と条約の留保の撤回を求めた。また、障害のある子どもの施設収容が続いていることに強い懸念を表し、委員会に対してこの状況を解消すべく取り組むよう求めた。第 22 会期は 8 月 26 日～9 月 20 日に開催され、アルバニア、オーストラリア、エクアドル、エルサルバドル、ギリシャ、インド、イラク、クウェート、ミャンマーの報告書が審査される予定である。